

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	左肝葉における拡散強調画像のモーションアーチファクト低減再構成法の研究			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2029年3月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当院の第4MRIにあるCANON社製のMRI装置（Vantage Centurian 3T）にて肝臓の拡散強調画像を撮像した患者さん			
④ 対象期間	2025年1月6日 から 実施許可日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	全診療科			
⑦ 研究責任者	氏名	大谷 悠介	所属	放射線部
⑧ 使用する情報等	<p>1) 識別コード、性別、肝臓の術歴、MRI検査情報（検査目的、撮像方法） MRI画像</p> <p>2) 日常診療で取得したMRI画像を用いてAdaptとSmartを使用した再構成画像</p> <p>3) 本研究で取得した既存情報を用いて新たに習得する情報：SI（Signal Intensity）比、SN（Signal Noise）比、視覚評価</p>			
⑨ 研究の概要	<p>肝臓の拡散強調画像（Diffusion weighted imaging :DWI）は造影剤を使用せずに肝臓の腫瘍を検出・評価できるMRIの方法であり、臨床で広く活用されています。特に小さな肝細胞癌や転移性肝腫瘍の検出に有用であり、肝疾患の診断や治療効果判定に欠かせない撮像法の一つとなっています。</p> <p>しかし、DWIは動きに非常に敏感であり、特に左肝葉では呼吸や心拍動の影響を受けやすく撮像画像に信号欠損や歪みなどが生じやすいことが知られています。</p> <p>本研究は、機器には導入されているがまだ実際に運用していない画像処理方法であるAdaptとSmartを用いて、左肝葉における呼吸や心拍動の信号欠損や歪み低減、画質向上を目的としています。</p> <p>研究対象とする期間に日常診療から得られた情報を特定の個人が識別できないように加工し、解析を行います。</p>			
⑩ 実施許可	実施許可日	2026年4月21日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。			

	詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線部の奨学寄付金を使用します。		
⑯ 利益相反	ありません。また、当該研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：大谷 悠介		
	電話	0836-22-2631	FAX 0836-22-2638